農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大網白里市長 金坂 昌典

市町村名 (市町村コード)	大網白里市 (122394)
地域名 (地域内農業集落名)	福岡地区 (①長国、②下ヶ傍示、九十根、桂山、北吉田)
協議の結果を取りまとめた年月日	①令和6年2月4日、②令和6年3月27日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

・高齢化。・後継者、担い手不足。・畑の取扱いが難しい(借り手がない)。
・圃場が小さく非効率。・農地が分散して非効率。・農道、用排水路の維持・管理。
・農家数の減少による農地の荒廃。・生産に伴う経費(農機具)が高価。
・米価買取価格の低迷。・農産物の価格が安い。

(2) 地域における農業の将来の在り方

・農作業の効率化を図るため、長国地区においては、畦畔除去等の基盤整備を実施して農地の集積・集約化を進める。他地区についても、畦畔除去による大区画化等の基盤整備を検討するため、継続して協議を行う。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	171 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	171 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

・農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
・畦畔除去や大区画化等の基盤整備を検討・実施し、農地の集積・集約化を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
・就農者の減少や高齢化を踏まえ、農地中間管理機構の活用を検討。 ・農地中間管理機構の活用については、担い手の経営意向等を踏まえながら検討していく。
(3)基盤整備事業への取組方針
・農作業の効率化を図るため、長国地区においては、農地耕作条件改善事業の活用を検討して畦畔除去などを実施し、農地の集積・集約化を進める。他地区についても、大区画化等の基盤整備を検討するため、継続して協議を行う。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
・担い手の育成。 ・大規模農業経営者や営農組合等への委譲。 ・農地の集約及び集約した農地を営農できる組織、法人の設立。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☐ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☒ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☒ ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

- ②無農薬の確立。(意見)
- ③スマート農業の導入。(意見)
- ⑤野菜、くだもの等の大型ハウス栽培の推進。(意見)
- ⑩ブランド作り及び生産者から消費者への直販ルートの確立。(意見)
- ⑩米価の引き上げ。(意見)